

令和2年度有明・山鹿地域事業部 研修会

Web 研修同時開催(報告)

主 催 (公社) 熊本県栄養士会 有明・山鹿地域事業部

日 時 令和2年12月17日(木) 14:00~16:00

会 場 名 玉名市民会館 1階 第1会議室

◇『子どもから中高年まで行動変容へ導く栄養指導について

～ 対象者の立場に立って考えられる栄養士 ～

講師 : CKD 対策栄養食事療法研究会代表 管理栄養士 佐野 正人 氏

新型コロナウイルス感染症の拡大を考慮し、急遽、ZOOMを使ったWeb研修会を同時開催し実施しました。

佐野先生は、2003年3月に国立療養所再春荘病院を定年退職され、2011年4月～熊本市CKD対策栄養食事療法研究会代表となられ、現在も3つの医療機関で嘱託管理栄養士として勤められています。佐野先生には、栄養指導の根本となる考え方や指導の仕方を御講話頂きました。まず、どの栄養指導にも共通する考え方は「私たちの体は食べ物によってつくられている」ということです。人が食べる理由には4つあります。「人との良好なコミュニケーションを築く」「空腹を満たす」「健康維持、病気の予防、治療、重症化予防」「嗜好を満たす」です。栄養指導の対象者は常に「人」であり、その人は、栄養士と同様「食べ物」でつくられているため、それを常に共通のキーワードにして対話の中で、その人の食事に関する問題点を一つ一つ解決していくことが大切だということでした。さらに、管理栄養士・栄養士の役割は、対象者が必要とする栄養量を食事という形にアレンジする技術が、管理栄養士・栄養士に課せられた役割であり、生涯現役として働くこと、伝えていくことが大切であるという、専門職としての姿勢を教えてくださいました。佐野先生の長年の栄養士としての経験から、大切な考え方をたくさん教えて頂き、今後の栄養士としての活動に活かしていきたいと思えます。

今回は、新型コロナウイルス感染症対策を実施して、会場参加18名、Web参加22名の出席でした。ご講演頂きました佐野先生、誠にありがとうございました。



【会場とオンラインの同時開催で実施】



【佐野先生】